

奨励賞

春の風邪

沢町 坂本 巴

元気ネと医者様の云ふ春の風邪

花万朶私の好きな江戸時代

二百年使ふ片口春灯

子鴉に母は何処かと問はれけり

山紅葉九十才を定年に

奨励賞

花物語

沖町 深川 智昭

そぞろ来し祇園に白き花の雨

逆光の窓の憂鬱七変化

私だけ見てゐてほしい緋の牡丹

百日紅画廊は小さき倉の中

五輪の塔映す水面のこぼれ萩

奨励賞

灼くる道

符津町 荒木千代子

散る花や仏御前の里に出づ

養生訓呉れる薬屋梅雨の晴

心太うなづくだけの会話かな

登校子水着袋をぶらぶらと

離さざる杖は我が身や灼くる道

葱坊主

白江町 丸次 洋子

琴線に触れし一言葱坊主

ほんとのことそれは言はずに鯛雲

世渡りにこつがあるよと浮人形

白き傘

金沢市 朝倉恵美子

夫婦づれ白靴軽く弾みたり

花時計音なくすすむ秋の暮

白き傘くるくる回す花野かな

辛口が好みの男竹婦人

無理せずに生きるがよしと夏柳